

稲敷市議会議員

広報

そめ たに

自民党茨城県連青年局女性部担当部長

染谷くにか



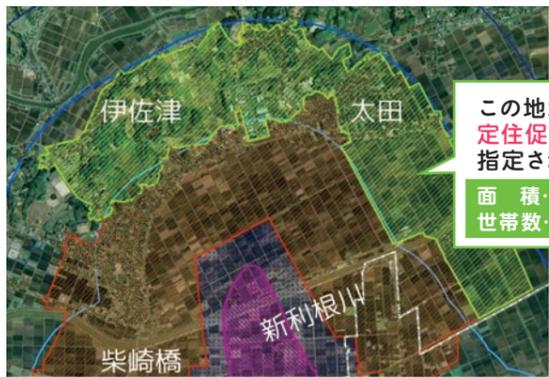
日頃より染谷くにかの政治活動にご支援を賜り心から感謝申し上げます。初めての選挙から2年、市が抱える様々な問題を新人議員の目線で見えてまいりました。人口減少やまちのインフラ整備など問題は山積ですが、今回は特に成田空港との関係にフォーカスした広報を作成しましたのでご覧ください。



稲敷市と成田空港の共存共栄をめざして

R5, 騒音隣接区域の拡張を提案

R6, 定住促進地域として約500世帯が補助対象に追加。



この地域が定住促進地域に指定されました。  
面積…494ha  
世帯数…555世帯

住宅防音工事補助など詳しくは市のHPで。>



R5, 英語教育に最大限の支援を提案

R6, ALT (外国語指導助手)が増員され、外部委託の英検対策授業が開始されました。がんばれ稲敷っ子! 現在ALTのさらなる増員を提案しています。また小学1、2年生の英語体験の充実も提案中。



今年から大学院生が子どもたちに英語でスポーツを教える取り組みも進行中です。

外資系航空会社や成田空港会社による、中学生に向けた講話も予定されています。

R5, 成田空港と稲敷市において将来可能性を生み出す取り組みについて質問

R6, 航空業界学習事業として6年生と保護者152名が参加したフライト体験が実現。翌年より市内6年生全員を対象にフライト体験を実施。



R5, 働く場所と住む場所の確保について質問

R6, 角崎地区、犬塚地区などの一部市街化調整区域が「市街化区域」に＝商業施設や住宅の建築が可能に。都市計画を目的とした場所になりました。



角崎は成田空港からの玄関口!

R5, 成田空港からの交付金3億6700万円の使途について広報への掲載を提案

R6, 11月号より広報に掲載が始まりました。「広報稲敷」はコチラ>>>



もっと成田空港とつながろう!

近い将来、空港で雇用が7万人不足するといわれています。稲敷から通える職場として、もっと成田空港に興味を持っていただけるよう今後は小・中学校でも修学旅行などに成田空港から出発できるよう提案中です。また空港への就労についても、障がい者枠の活用も含めて推進を提案しています。空港への交通手段や開発についてもしかりです。この2年、空港との共存共栄を目指し騒音問題についての議論を前進させるため、何度も空港に足を運んでまいりました。そのうえで葉梨康弘代議士や細谷のりゆき県会議員にもお力添えをいただき、まさに空港との関係構築は始まったばかりだと感じております。これからも皆様の声を市議会、県、国に届けるために努力してまいります。

コラム

私の人生の中で、政治家として活動するための時間と環境を手に入れることは、必要なことであつたと感じます。子育て真っ最中はそれに専念すべし! 稲敷市の議員報酬は月36万円、これは市民のために動いた報酬かと。女性政治家が良いわけでもなく、若さが良いわけでもなく、大事なのは政治家としての魂です。「いい政治というもの、国民生活の片隅にあるものだ。目立たず、つましく、国民の後ろに控えている。政治はそれでよい」(角栄談)いつしか稲敷市でもそういう政治をしてみたいと思うのでした😊



# 対談

茨城県議会議員  
細谷のりゆき

稲敷市議会議員  
染谷くにか



## 成田空港との共存共栄について



本日はよろしくお願いします。普段から「いなしき地域の暮らしを守り未来を創る」(細谷県議HPより)と掲げられている細谷先生に、空港との関係についてお話を伺っていききたいと思います。まず空港と地域の共生にはどのようなことが必要なのでしょう？

細谷：それには信頼関係です。まずは**交付金の使途**。これが町のために有効に使われていることが大事で、住民にそれが分かれば空港との良好な関係を維持できると思います。交付金は市に入りますが使途は未定なので希望を出していく必要があります。



いなしき地域として河内町と稲敷市でアンバランスになっているところは追いついていきたいと思っています。

細谷：例えば河内町では以前から住宅防音工事の補助を行っていますが稲敷市ではH29年からの把握しています。河内町でも最初はごく一部の狭い範囲でしたが、徐々に広がっていきました。稲敷市では遅れて始まりましたが**広範囲になってきましたね**。



今年には定住促進地域として約500世帯が追加されました。今後も協議して参ります。

## 稲敷市・河内町「実施プラン」について



航空機も技術の進歩で昔より音は低くなっていますし、空港は低騒音機の着陸料を安くするなど「環境への取り組み」を経営における最重要課題としています。

細谷：空港としても音の問題が環境へ及ぼす影響について調査を進めているようですが、因果関係を証明することはなかなか大変です。なので、せめて家の中にいるときはゆっくりと過ごせるようになど、**ポイントを絞って対策**することも大事だと思います。

## プランをもって地域振興枠をふやす



地域振興枠をもっと活用して地元に活かしたいと考えますがどうすればいいのでしょうか？

細谷：**航空機の音やナガエツルノゲイトウ**といった、稲敷・河内の地元の問題を解決するためにしっかりと使うことが今後に繋がります。そして具体的なプランをもって行動する。健康センターやプールなどの施設をつくりたいとかですね。



細谷先生は「健康長寿日本一」も掲げていらっしゃいますね。

細谷：社会保険制度を維持するには、**高齢者の健康を増進**することが大事なのです。茨城県でも1兆円に迫る医療費をどうするかは問題で、健康づくりは国全体が抱える大きなテーマです。年金も介護費も増えていきます。それをみんなで意識しながら、**日本一健康な地域を目指す!**というのがいいのではでしょうか。



例えば横芝光町では、令和4年度の交付金が14億4千万でした。その中でも教育医療福祉などの地域振興枠が増えています。物理的な騒音対策以外に、成田便として生活路線バスの運行費補助も交付金から4700万円出ています。稲敷市でも一般財源ではなく地域振興枠を使うなど成田空港ともっと繋がることでまちの路線確保に繋がるかもしれません。

## 子どもたちの将来を見据えた教育について



成田空港に通って働くことができる地域として、もっと英語教育に力を注ぎたいのですが、現状は英検受験者数も少ない。何とかしたいですね。

細谷：英語教育はスピーキングが大事ですから**幼少期から力を入れたい**ですね。どういったカリキュラムを組むかといった、教育委員会の仕事も大事です。河内はこの度フィリピンと提携できましたが稲敷市はこれからですね。英語も含め、**次世代に残せる学校教育**が必要だと思いますので、県で必要なことがあればいつでも教えてください。



心強い言葉ありがとうございます。今日は多くのお話ありがとうございました。

細谷：今後もいなしき地域の発展のためにがんばっていきましょう！



編集後記

「政治とは、事を為すこと」とは田中角栄氏の言葉であります。成田空港関連事業では、地元衆議院議員葉梨先生、県議会議員細谷先生、筑市長、根本議長、地元先輩議員に多くのご理解を頂き、多少の「事を為す」ことができていると思います。一步づつ、市民の皆様に納得頂き安心して過ごしていただけるよう、より一層の努力をして参りたいと思います。成田空港の交付金を教育・福祉・環境・産業・インフラ各分野において、さらに地域振興枠を使えるように交渉してまいります。5年後10年後20年後も皆様のそばで市民の笑顔を守るように政治家として邁進してまいります。



誰もが輝けるまちへ 染谷くにか

稲敷市議会議員 自民党茨城県連青年局女性部担当部長

染谷くにか事務所

〒300-1412

稲敷市柴崎141 (五右衛門/旧染谷商店)



討議資料